

一般社団法人ことばアートの会・公益財団法人北区文化振興財団 共催

失語症当事者×文学座俳優による朗読群像劇

言葉のラビリンス

Labyrinth of Words 《迷宮》

脚本・演出:石原由理

2025年9月7日(日) 13:30開演
(開場 12:45)

北とぴあ つつじホール

誰の物語にも、まだ、続きはある…



失語症当事者
×
文学座俳優
による
朗読群像劇

言葉のラビリンス

《迷宮》

事故や脳卒中などの後遺症として、話す・聞く・読む・書くなどの言語機能が低下する障害「失語症」。全国に約50万人いると推定されています。「ことばアートの会」代表の石原由理は、2013年に脳梗塞の後遺症として失語症を発症。戯曲翻訳家という言葉のプロが言葉を失い、一時はうつ病、そして数年にわたり引きこもりになるなど、失意の日々を過ごします。しかし、彼女を救ったのが、かつて身を置き、愛した演劇の世界でした。朗読が失語症の回復に役立つと確信し、独自のメソッドを開発、朗読教室を開講することになり、そこに集う仲間たちと再生の道を歩き始めました。

本作品は、2023年7月『言葉つなく明日へ』、2024年10月『言葉にかかる虹』に続く、3部作の最後を飾る作品となります。石原が求めてきたのは、演劇のプロたちと織りなす、真のエンタテインメント。それを当事者が実現することで、「見えない障害」を、広く知ってもらいたいと願っています。

当事者たちが陥った闇、そして見出した光。それぞれの物語を感じてください。

Cast

出演:鬼頭典子／村上佳
「失語症者のための楽しい朗読教室」生徒



鬼頭典子(文学座)



村上佳(文学座)

Staff

脚本・演出:石原由理
音楽:山田昌平
照明:高橋英哉
音響:長柄篤弘
舞台監督:村山鈴夏
MC:町亞聖(フリーアナウンサー)
運営サポート:糸川博樹
取材:つちやつづる
協力:文学座



石原由理

僕が人生で大切にしている「人・本・旅」。
この物語には、それが詰まっています。
人の9割強は、すねに傷を持っています。
だから前を向いて
それぞれ違う「人・本・旅」を見つけましょう。
出口 治明(立命館アジア太平洋大学学長特命補佐・名誉教授)



アフタートーク 「失語症者にとっての朗読とは」

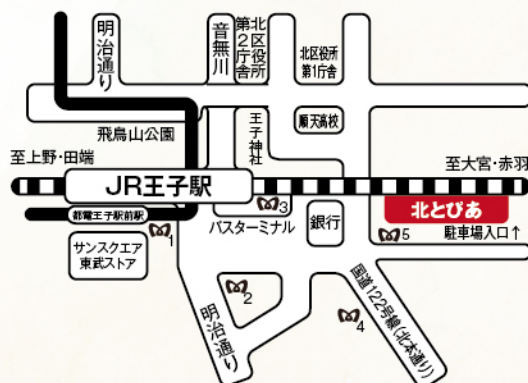
出演

医師 (足利赤十字病院神経精神科部長) 船山 道隆	文筆家 (高次脳機能障害当事者) 鈴木 大介	言語聴覚士 菅波 美穂
---------------------------------	------------------------------	----------------

アクセス

北とぴあつつじホール

東京都北区郷船1-11-1



- 東京メトロ
南北線
「王子駅」
5番出口直結
- JR京浜東北線
「王子駅」
北口から
徒歩2分
- 都営荒川線
「王子駅前」
徒歩5分

■お車でお越しの方
地下駐車場がご利用いただけます(障害をお持ちの方は手帳提示で料金免除)
駐車場スペースが限られておりますので、車での来館はなるべくご遠慮くださるようお願いいたします

料金

一般 3,000円(税込) ほとぴあメンバーズ、2,700円(税込)※2
北区区民割

全席自由※1

※1 整理番号はつきません。良い席でご覧になりたい方はお早めの来場をお勧めします
※2 東京都北区在住の方は割引価格で購入できます(お一人様4枚まで)

チケット取り扱い

ほとぴあチケットオンライン「ほくチケ」

<https://p-ticket.jp/kitabunka/guide> (ご利用ガイドページ)

北とぴあ1Fチケット売り場

営業時間 10:00~20:00

(北とぴあ臨時休館日は10:00~18:00、全館休館日は休業)

アーカイブ配信

ツイキャスによるアーカイブ配信あり(見逃し配信あり)。
配信チケット料金2,500円。
ご希望の方はことばアートの会までお申し込みください。

お問い合わせ

一般社団法人ことばアートの会
TEL:03-6824-5450 <https://kotoba-art.com>

